

事例⑤ 神明内地区外

事業区域の農地面積 : 38.7ha
農地バンクを活用した面積 : 16.3ha (42%)

地域で排水路等の維持管理を行っている神明内第一道水路維持管理組合の活動区域において、現役の農業者を中心に将来的に耕作が継続できなくなった場合に担い手農家へ耕作を引き継げる体制の整備を目的とし、農地バンクの推進を行いました。

取組の結果、神明内地区及び上吉羽地区については農地バンクの利用率が50%以上となりましたが天神島地区及び平須賀地区の利用率が低くなっているため、今後も推進を進めて行きます。

なお、地域の担い手農家については積極的に地権者へ農地バンクを利用しており今後の農地の集積・集約化に向けた体制整備をすることができました。

